

平成20年度

予算案

まとめまる

市は、平成20年度の予算案をまとめました。
予算総額は2687億9365万円。内訳は、
一般会計1540億8929万円、特別会計737億8707万円、企業会計409億1729万円です。

前年度予算に比べて、総額で7.7%減、一般会計で3.7%増になっています。
なお、一般会計のうち、借換債を除く実質的な予算額は4.0%増の1519億7439万円になっています。

また、一般・特別会計を合わせた平成20年度末における、基金残高（市の貯金）の見込みは153億5896万円、市債残高（市の借金）の見込みは1934億96万円になっています。

この予算案は、現在開会中の3月定例会市議会で審議されています。
問合せは財政課（0798・35・3414）へ。

新年度予算編成を取り巻く状況

「歳出」では、人口増や高齢化の進展、中核市への移行にもなる行政需要の増、退職手当の増などが見込まれることから、前年度に比べ民生費、総務費などが増額になっています。

一方、「歳入」では、根幹となる市税収入が住宅借入金等特別税額控除の創設による減などにより前年度をやや下回ります。
普通交付税が中核市への移行にともない増加する行政需要の財源として措置される見込みのため、30億4000万円の大幅

新年度予算の特徴

特徴

景気の緩やかな回復に足踏みが見られるなか、平成20年度予算では最終年度を迎える「第3次西宮市行政改善美

な増額を見込んでいます。
さらに、市有地の売却や手数料の見直しなどにより財源確保に努めました。
なお不足する財源については、市の貯金である財政・減債基金（災害援護資金を除く）をあわせて68億9300万円取り崩して予算編成を行うことができました。

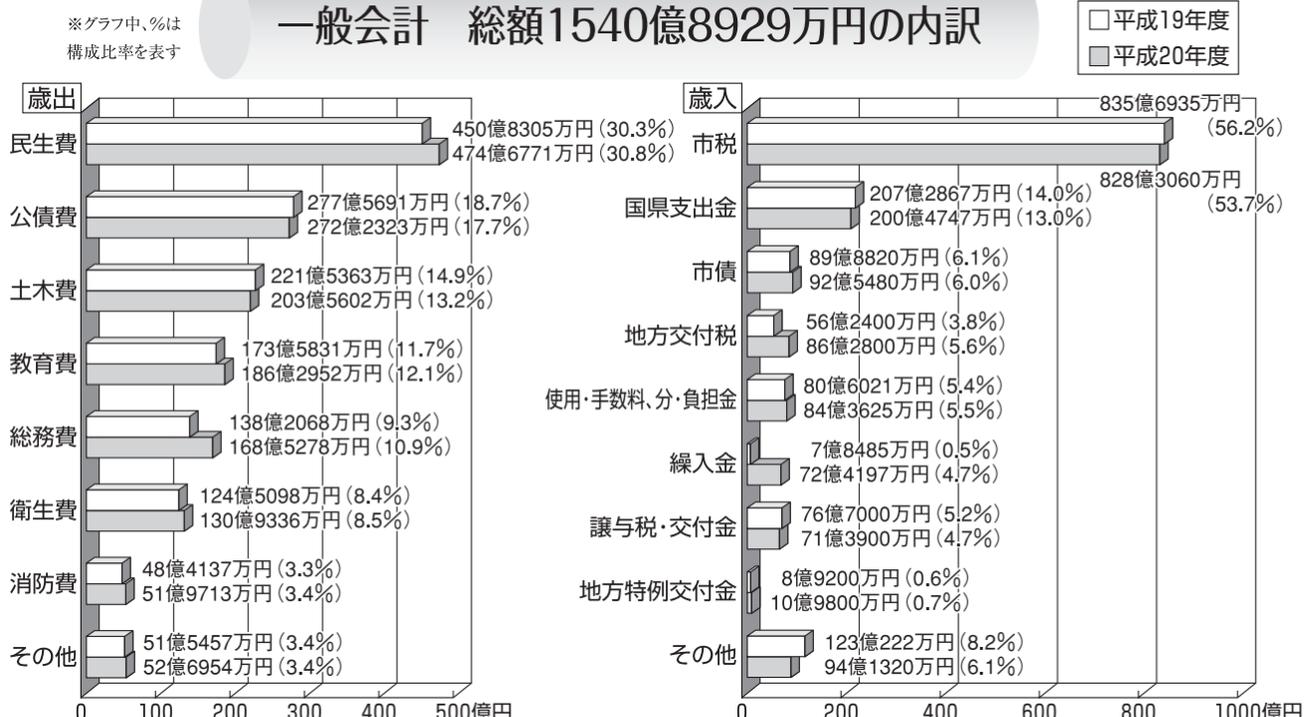
また、「新行財政構造改革」を受け、市民への影響を緩和するための措置を講じるとともに、医療制度改革への対応、子育て支援や学育向上などの施策の充実、保育所等の待機児童対策、小学校の児童増対策、「仮称」山口地区センターの整備など、市民生活に密着した事業を優先的に実施します。

平成20年度 予算案 総額 2687 億 9365 万円

Table with 3 columns: 区分, 予算額, 前年度からの増減率. Rows include 一般会計, 特別会計, 企業会計, 合計.

\*一般会計のうち借換債を除く実質的な予算額は1519億7439万円（前年度比4.0%増）

一般会計 総額1540億8929万円の内訳



市民1人あたりでは 一般会計予算 32万3000円に

（1月1日現在の推計人口47万7056人で算出）

目的別にみると次のとおりです

Infographic showing budget allocations for various purposes: 生涯福祉の充実に, 高度情報ネットワーク推進や文化振興に, etc.

市民1人あたりの基金残高と市債残高 (一般会計および特別会計分)
基金残高... 3万2195円
市債残高... 40万5405円



西宮市まちづくり賞

功績のあった7個人2団体に贈呈

市は、中核市移行記念「西宮市まちづくり賞」の受賞者を決定し、2月21日に贈呈式を行いました。
この賞は、活力と潤いのあるまちづくりに向け、都市の基盤整備や教育・文化・福祉などの分野で功績のあった個人・団体に贈るものです。
受賞者は次の7個人・2団体の皆さんです。

問合せは秘書・国際課（0798・35・3432）へ。
《受賞された皆さん》
上杉孝實さん（川西市）：西宮市男女共同参画懇話会会長として男女共同参画施策の推進に貢献。
中田仁成さん（剣谷町）：西宮市斑状歯認定審査会長として斑状歯の認定や治療方法等の研究に尽力。
中山伊佐夫さん（名塩2丁目）：西宮市民生委員・児童委員会会長として地域福祉の推進に貢献。
二宮正夫さん（大津市）：西宮湯川記念事業運営委員長として市民の生涯学習と科学教育の振興に貢献。
藤本としえさん（上ケ原八番町）：地域コミュニティの活性化および青少年育成活動の推進に尽力。
山内菜美さん（平木町）：西宮市環境衛生協議会会長としてごみの再資源化の促進を図るなど循環型社会の形成に尽力。
米山清美さん（鞍掛町）：子どもの遊び場づくりなどを通じて地域の子育て支援に貢献。
ごも環境活動支援協会（甲風園1丁目）：子どもたちへの環境学習支援など市民の環境学習活動の推進に貢献。
百間樋井組（上田市2丁目）：良好な水源確保による農作物の育成に寄与するとともに水害被害防止や環境保全に貢献。

4月5日の記念式典で表彰 入賞作品が決定

中核市にのみや誕生記念・作文コンクール
市が4月1日の中核市移行を記念して実施した「作文コンクール」西宮市をこんなまにしたいな」に、市内在住・在学の小・中学生の皆さんから555点の応募があり、このたびに入賞作品13点を選定しました。
受賞者は次の皆さんです（敬称略）。
なお、4月5日に市民会館アミティホールで開催する「中核

市移行記念式典」において、入賞者の表彰を行います。
式典の詳細は本紙3月25日号でお知らせします。
問合せは中核市担当グループ（0798・35・3540）へ。
【優秀賞】難波茜（浜脇小5年）：私が住みたい町「稲田向日葵（真砂中1年）：「わたしの望むまち」
【入選】開発里菜（用海小5年）：今西朝美（今津中1年）：櫻井真樹（真砂中1年）：鳥井ほのか（真砂中1年）：森田菜月（西宮浜中1年）：相利砂子（今津中2年）：壺内弘美（今津中2年）：藤田万由子（真砂中2年）：岩泉達也（甲陵中3年）：武田知子（深津中3年）